

アヅカル人ハ、姓氏ノ重複シテ、雅馴ナラザルヲ嫌ヒ、是ヲ截断シテ一字姓トナシ用ル事、コレモ  
謾園○荻生ノ學オコリテヨリ諸州ニ多シ、京師ニテモ字士新ナド、其義ヲ然リトシ、自身ノ字野  
氏ノ上一字ヲ摘テ宇氏トス、一時其弟子輩、ミナ其義ニ從フ、士新、地名ニオイテハ、修シアラタム  
ル事ヲ諒メテナサズ、姓氏ニアリテハ、右ノ如キハ其見識、二人ニ出ルニ似タリトイフ人モアリ、  
略○中複姓ヲ修シテ單姓トスルサヘモ、輕薄ニシテ謂レ無キ事ナルヲ、一向ニ他ノ字ヲカヘ用ル  
人アリ、其輕薄更ニ甚シ、タトヘバ朝比奈氏ノ晁氏ト稱シ、鷹見氏ノ雍氏ト稱シ、干河ヲ何トシ、長  
谷川ヲ張トスル類ナリ、余○江村ガ撰セル日本詩選ニモ錄セル、越後ノ五十嵐俊明、中年ニアリ  
テ、或人ノ說ヲ信ジ、吳俊明ト稱ス、吳ト五ト吾邦ニテ音同ジキ故ナリ、老後其非ヲサトリテ、五十  
嵐氏ニ復ス、但シ三字姓ハ、文事ニ用キルニハ實ニ雅ナラザレバ、朝比奈ヲ朝長谷川ヲ長トカ谷  
トカセンハ、時ニトリテハユルス方モアルベキカ、又自家ノ姓氏ヲ俗ナリトシ、少シノヨリドコ  
ロモナキ文字ニカヘテ、漢土メキタリト喜ブ人モアリ、其輕薄益々甚ダシ、要スルニ祖先ヨリ承  
クルトコロノ姓氏ヲ、自分ノ意ニ任セ、アチコチトナブルハ、理義ニ於テ害アル事ナリ、

〔名字辨〕そもそも、今世のからまなびをむねとする人の、藤原某、大江某など、藤某、江某とかくさ  
へあるを、芝シズを司馬、長田を張とやうにいとからめかしてかける人のあるは、いかなる心ぞや、お  
のれひとりのたはぶれごとのやうおもふめれど、外國より歸化し人の才もなく功もなくて、姓  
もたまはらで有し人の裔ならんと思はるゝは、先祖までをはぢしむるわざならずや、

〔十駕齋養新錄十二〕古人姓名割裂

漢魏以降、文尙駢儻、詩嚴聲病、所引用古人姓名、任意割省、當時不以爲非、如皇甫謐釋勸、榮期以三  
樂感尼父、庾信詩唯有丘明恥、無復榮期樂、白樂天詩、天教榮啓樂、人恕接與狂、謂榮啓期也、費鳳別  
碑、司馬慕蘭相、南容復白珪、謂蘭相如也、楊巨源詩、不同遽玉學知非、謂遽伯玉也、朱君山墓誌、魚山